

令和5年度津市立明合小学校経営改革方針

1 経営方針（基本理念）

- (1) 「自ら学び、考え、行動する」児童の育成
- (2) 保護者・地域と連携した学校教育の展開
- (3) 教職員一人一人が児童の視点に立った教育の推進

2 現状と課題

保護者や地域の人々は、学校に対する関心が高く、協力的である。祖父母との三世代同居や近隣住居が多く、地域での横のつながりがあり、まとまりがある。しかし、保護者の価値観が多様化し、そのニーズが広範囲にわたることから、密接な連携を図り学校教育の改革を進めていくことが求められている。

単学級の小規模校として、児童一人一人に対する教職員のきめ細かな目配りが可能な強みがある反面、集団での活動や社会性を伸長させる体験の場面では、限られた中での取組となり、少人数ゆえの難しさ・弱みがある。児童が自他の中に新たな発見をし、自ら考えて主体的に行動する力を育成していくことが求められる。

3 めざす学校像

学校教育目標 **「見てよ、できるよ、やる気とこん気で きらりと光る 明合っ子」**

＜めざす子ども像＞

- ・元気にあいさつができる子
- ・進んで学習や仕事ができる子
- ・仲間とつながることができる子

＜めざす教師像＞

- ・子どもを受けとめ大切にする教師
- ・子どもに働きかけ共に学ぶ教師
- ・心身が健康で日々実践する教師

4 重点目標

- (1) 児童の基礎基本の学力と基本的生活習慣の定着を図る。
- (2) 学校と子ども・家庭・地域との信頼関係の構築に努める。
- (3) 教職員の資質向上指導力向上を図る。
- (4) 地域と連携した活動を充実させる。
- (5) 総勤務時間縮減に向け、学校行事や校務分掌事務の効率の改善を図る。

5 具体的な行動計画

- (1) 児童の基礎基本の学力と基本的生活習慣の定着を図る。
 - ① 児童一人ひとりの学びを大切に授業の創造に努める。
 - ② 個に応じた学習指導・きめ細かな学習指導に努める。
 - ③ 学力・学習状況調査等の結果を分析し、指導に活かす。
 - ④ 「朝の読書」「家庭学習」の系統化と充実を図る。
 - ⑤ 長期休業中等に、学力補充を行う。
 - ⑥ あらゆる機会を活用して、場面に応じたあいさつができる児童の育成に努める。
 - ⑦ 保護者と連携しながら、基本的生活習慣の定着を図る。
- (2) 学校と子ども・家庭・地域との信頼関係の構築に努める。
 - ① 子どもの姿を全職員で共有し、保護者との連携に活かす。

- ② 学級通信・学校だより等を積極的に活用し情報を発信する。
- ③ 学校運営委員等による学校関係者評価を実施し、継続的な改善活動を行う。
- (3) 教職員の資質向上・指導力向上を図る。
 - ① 日常の報告・連絡・相談を密にし、子どもたちを中心に据えた取組に努める。
 - ② 校内研修を通じて、学習指導の工夫改善に取り組む。
 - ③ 教職員の学び合いを大切にし、研鑽に励む職場づくりをする。
 - ④ 外部講師の招聘，自主公開研修会の開催を通して，授業の改善に努める。
 - ⑤ 研究会，研修会等への積極的な参加と還流を実施する。
- (4) 地域と連携した活動を充実させる。
 - ① 子どもたちの安心安全を生むため、登下校の見守り活動を推進する。
 - ② 地域の人材や資源を積極的に活用し、充実した学習と豊かな体験活動を推進する。
 - ③ 地域行事への児童・教職員の積極的な参加を図る。
 - ④ 地域の方との積極的なふれあい活動を推進する。
- (5) 総勤務時間縮減に向け，学校行事や校務分掌事務の効率の改善を図る。
 - ① 毎週火曜日を定時退校日とし，8割の職員が定時退校できることを目指して計画的に校務を行う。
 - ② 放課後に開催される会議の8割で60分以内終了を目指し、会議の短縮・効率化を図る。
 - ③ 1人あたりの月平均30時間以内の時間外労働時間を目指す。また、1人あたり15日の年間休暇取得を目指す。
 - ④ 年360時間及び月45時間を超える時間外労働者の延べ数0を目指す。